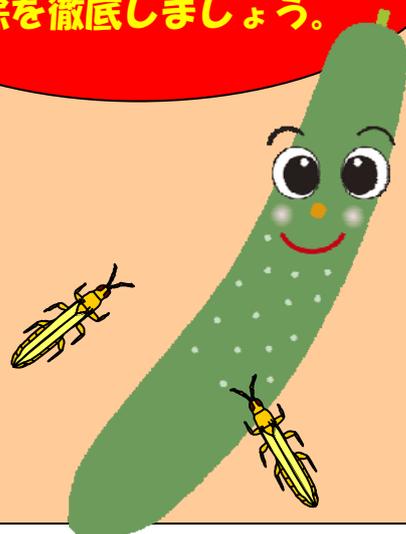


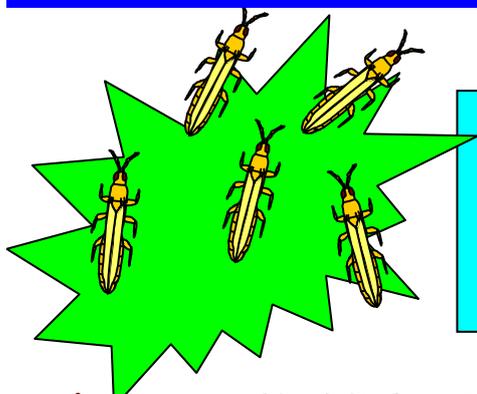
被害が増えてます！

本虫は、
キュウリ黄化えそ病の
病原ウイルス（MYSV）を
媒介するので、
防除を徹底しましょう。

きゅうりの
アザミウマ防除を
心がけましょう。



ミナミキイロアザミウマは
他のアザミウマと比較して 薬剤に対して強いので、
かけむらのないようていねいに散布しましょう。



系統の異なる剤をローテーションで
1週間間隔で2～3回繰り返すと効果的です。

主なきゅうりミナミキイロアザミウマ防除剤

平成26年1月29日現在

系統	薬剤名	効果	移行性	速効性	残効性	使用基準
ネオニコチノイド	モスピラン顆粒水溶剤	○～◎	◎	○	◎	2000～4000倍 (前日/3回以内)
マクロライド	アフーム乳剤	○～◎	○	◎	△	2000倍 (前日/2回以内)
スピノシン	ディアナSC	◎	○	◎	○	2500～5000倍 (前日/2回以内)
プロペニルオキシフェニル	ブレオフロアブル	◎	×	○	◎	1000倍 (前日/2回以内)

農薬の使用にあたってはラベルの表示事項を守りましょう。